

令和7年8月発行 社会福祉協議会喜多見地区事務局

8月 喜多見地区通信

募集しています！

災害福祉サポーター

私たちの暮らす日本は、地震や台風、大雨など、様々な自然災害に見舞われるリスクがとて
も高い国です。そのため、防災対策は一人ひとりが日ごろから備える大切な課題となります。

防災とは、災害から身を守るための準備や対策のことです。防災訓練に参加したり、地域の
人々と積極的にコミュニケーションをとることで、いざという時に助け合える関係を築くこと
も必要となります。できることから実践することで、より安全な地域づくりを目指せます。

【災害福祉サポーターとは】

- 世田谷区社会福祉協議会は“誰もが安心して暮らせるまち・世田谷”を目指し、住民同士のつながりや多
機関との連携を活かした支えあいの仕組みづくりに取り組んでいます。
- その一つとして、災害時を想定した住民の支えあいの仕組みが「災害福祉サポーター」の取り組みです。
- 地域活動に意欲的で活動を想定した訓練や交流会、災害時の活動に参加できる方を募集しています。

【活動内容】

- 平常時：活動を想定した訓練や交流会への参加を通じ防災情報の交換をし、社会福祉協議会や関係団体、
地域住民と顔の見える関係づくりを行います。
 - 災害時：災害時に支援が必要な方の安否確認やニーズ把握を、社会福祉協議会の職員と連携して行います。
- 詳しくは社会福祉協議会喜多見地区事務局へご連絡ください。【連絡先】070-3946-9804

9月3日（金）見守り講座へのお誘い

“災害時に役立つ誰でもできるポリ袋調理”というテーマで、講座を開催します。

講師：神田 由佳 氏（管理栄養士・防災士）

時間：10時～12時 場所：喜多見東地区会館2階（喜多見5-11-10）

募集人数：40名 締切：8月29日（金）

★ポリ袋でご飯を炊いたり、缶詰・乾燥食品を使ったおかずが作れます。

当日は実際に作り方を見ていただき、試食も予定しています。災害時への備えと
なりますので、ぜひ、ご参加ください！

住民主体で意見を出し合う協議体を開き、生活支援を生み出しています。
皆さまの暮らしの中でお困りの事や、あったら良いな…と思う支援など、
是非お聞かせください。皆さまのお声が活動の第一歩となります。